

みどりの 通信



2019

1

NO.458

謹賀新年



12月12日、聖隷三方原病院に近接する場所で「地域障がい者総合リハビリテーションセンター」の起工式を執り行いました。

この施設は様々な障がい者に対して総合的にリハビリテーションを提供します。

【理 念】キリスト教精神に基づく「隣人愛」

【経営方針】この地域にしっかりと根ざし、住民に信頼される病院づくり



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

医療保護施設

総合病院 聖隷三方原病院

SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL

〒433-8558 浜松市北区三方原町3453

TEL 053-436-1251(代) FAX 053-438-2971

おしらせ



年頭所感 2019年1月1日



「あけましておめでとうございます。
今年が皆様方にとりまして良い年となりますように」

聖隷三方原病院は障害を持った方々に開かれた病院づくりをしています。生下時より重度の障害を持つ方々には「おおぞら療育センター」を利用してもらっています。また、急性期病院には珍しいリハビリ病棟を備え、障害の残りそうな患者さんへ、極力早期に社会復帰ができるよう支援をしています。今回、外来リハビリ部門が少し手狭になっていることを受け、姫街道沿いに取得出来ましたかなり広い土地に「地域障がい者総合リハビリテーションセンター」を設立することに致しました。障害を持った方々が、活き活きと活躍出来る社会作りを応援します。工期は約1年ですので、今年の年末には運用が始まっている予定です。障害を持った方々の笑顔が今から楽しみです。聖隷三方原病院は地域の皆さま方と共に、地域に密着した病院づくりを目指します。職員一同本年もよろしくお願いいたします。

聖隷三方原病院
病院長 荻野 和功



聖隷おおぞら療育センターが 天皇陛下より御下賜金を賜りました

聖隷おおぞら療育センターは、長年にわたって施設利用者に対して障害に即した医療を提供するとともに、個の尊厳を護り、質の高い生活を提供してきました。また地域において障害者の方々とともに生活しやすい環境作りへの取り組みが認められ、今回天皇陛下より御下賜金を賜ることとなりました。

これからも地域の方々とともに、よりよい医療を提供できるよう努力し続けてまいりますのでご支援のほどよろしくお願いいたします。



ボランティア募集

当院でのボランティア活動に関心をお持ちの方は、「ボランティア説明会」にぜひご参加ください。

日時：2月1日(金) 14:00～15:30

場所：聖隷三方原病院 ホスピス2階研修室

お申込みは1月31日(木)までに下記担当者までお願いします。

お申込み・お問い合わせ：

聖隷三方原病院ボランティア担当 高塚・林

TEL：053-436-1251(代表)



あれ!?これって…
認知症?

認知症相談会

認知症の人には
どう接したらいいの?

認知症に関する相談を、認知症看護認定看護師、医療ソーシャルワーカーがお受けします。ひとりで悩まず、ご相談ください。

日時：2019年1月24日(木) 14:00～17:00
※事前予約制、30分程度／1件

場所：聖隷三方原病院 よろず相談地域支援室
申し込み：聖隷三方原病院 医療相談室(よろず相談地域支援室内)
電話：053-439-0006
受付時間：月～金 8:30～17:00
主催：聖隷三方原病院 浜松市認知症疾患医療センター

がん相談支援センターからのお知らせ

おしゃべり会「じゃがいも」

同じ病気を抱えている患者さんといっしょにお話してみませんか？
おしゃべり会はみなさんと体験をわかちあい、支えあう会です。

参加費無料 申し込み不要

日時：2019年1月24日(木) 13:30～14:30
場所：聖隷三方原病院 第6会議室
対象：がん患者さんとご家族



第4回 就労に関する相談会

静岡県社会保険労務士会から派遣された社会保険労務士と当院の相談員がご相談をお受けいたします。

予約制

日時：2019年1月10日(木) 13:00～16:00
場所：よろず相談地域支援室
対象：がん患者さんとご家族

お問い合わせ：よろず相談地域支援室内 がん相談支援センター
電話：053-439-9047

栄養課通信 1月

～お餅～

お餅は昔から「ハレ」の日に神様にささげる神聖な食べ物。
特に新年には「年神様」を家に招き、おもてなしをするのにお餅がかかせませんでした。

お餅は長く伸びて切れないことから、長寿を願う意味もあるのだそうです。
お正月でお餅が余っている方も多いのではないのでしょうか。調理法を工夫したり、いろいろアレンジしてみたいかたがでしょうか。お餅は淡白なので、色んな料理や味付けとも相性がよく、食べ応えもアップします。

簡単！旬のレシピ

おすすめメニュー

「揚げ餅と里芋の エスニック風」

をご紹介します

《栄養価 1人分》

エネルギー	262 kcal
たんぱく質	3.9 g
脂質	9.4 g
食塩相当量	1.3 g

2人分

里芋	60g	酢	小さじ2
餅(切り餅)	2個	はちみつ	小さじ1
生姜	5g	赤唐辛子(輪切り)	適量
にんにく	5g	白ネギ	3g
醤油	大さじ2	片栗粉	適量
砂糖	小さじ2	揚げ油	適量

作り方

- ① 生姜・にんにくはすりおろし、Aの調味料をあわせておく。
- ② 白ネギは白髪ネギにし、水にさらしてから水気を切っておく。
- ③ 里芋は洗って蒸すか、レンジで軟らかくなるまで加熱し、皮をむいて食べやすい大きさに切り片栗粉を付ける。餅は4等分する。
- ④ 里芋と餅を揚げる。(くっつきやすいのでフライパンで揚げ焼きにすると作りやすい)
- ⑤ 揚げた里芋と餅をAの調味料で和え白髪ネギを散らす。

※お好みでパクチーをちらしたり、醤油のかわりにナンプラーを使用すると、よりエスニック風になるのではないのでしょうか。
(にんにくが苦手な方は少し控えめに)

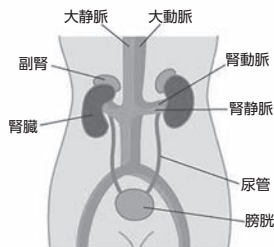
栄養課 名倉 哲子

腎がんについて

泌尿器科
部長 倉橋 俊史

今回は近年増加傾向にある腎がんについてお話しします。

腎臓は、ちょうど背骨の両側の、腰の高さのところ左右1つずつある臓器です。大きさは握りこぶしくらいでソラマメのような形をしています。



腎がんは、早期であれば手術によって完治することも可能です。しかし、がんが小さい段階ではあまり症状がないため、以前は早期発見の難しいがんとされてきました。

腎がんの特徴的な症状は、がんが大きくなると自覚されるようになります。血尿、腹部のしこり、わき腹の痛みなどが主な症状です。そのほか、食欲不振や貧血、発熱などが見られることもあります。何らかの症状が続くときは、すぐに受診することが大切です。

また、腎がん発症の危険因子として、著しい肥満、喫煙、高血圧、長期間の透析、遺伝子異常（VHL 遺伝子異常）などが知られています。

最近では、人間ドックの超音波検査、または他の病気の診断のためにCTを撮影した際などに、早期の小さい腎細胞がんが発見されることも多くなっています。小さな腎がんであっても1cmぐらいの大きさになれば、こうした検査で発見されるようになりました。

一般に腎がんの危険因子として、(1) 生活習慣、(2) 職業、(3) 長期透析、(4) 遺伝因子などが挙げられます。

腎がんの発生に関連する生活習慣としては、「喫煙」、食事や運動習慣などに起因する「高血圧」や、「著しい肥満」などが明らかになっています。「著しい肥満」の場合は、リスクが約4倍になるといわれています。

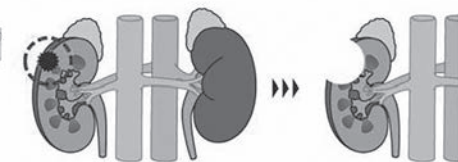
また人工透析を長期間受けている患者さんは、普通の人よりも腎がんにかかりやすくなります。10年以上透析を受けている場合、約8割の人に腎がんが発生するといわれています。

腎がんの発症を予防するには、肥満や高血圧にならないように気をつけ、禁煙することが大切です。また、野菜や果物の摂取はリスクを下げるとされています。

小さな腎がんであれば、腎臓を全部摘出しなくても、がんの部分のみ切除する腎の部分切除術が標準治療です。腎臓を全部摘出する場合と比較し、腎機能温存のみならず全生存も改善させることが示されています。2016年の4月から腎がんの部分切除術がロボット手術の保険適応となり、がんの切除および切除部分の縫合を従来の開腹手術や腹腔鏡手術以上に正確かつ安全に行うことが可能となっています。



腎温存手術(部分切除) がんの部分だけを取り除く



※比較的小さく、腎臓の端にあるがんに限る

ダ・ヴィンチS
(da Vinci Surgical System)

今月の部門紹介

泌尿器科

部長 倉橋 俊史



一生懸命頑張っていく所存です。

泌尿器科は、腎尿路、副腎などの後腹膜臓器や男性生殖器の疾患に対する治療を行なう分野です。最先端の技術を用いて患者さんにやさしい最高水準の医療を提供するとともに、患者さんのQOL（生活の質）を重視し、患者さんが生涯にわたり最も適した治療法を選択できるようにしています。

地域に貢献できる医療を心がけ、頑張っていく所存でございます、おしっこに関してお悩みがあれば、お気軽に当科を受診してください。



病院で働く人たち

輸血管理室



輸血管理室は、「安全で適正な」輸血療法が行われるよう、輸血に関する検査や輸血用製剤の管理を担当する部門です。患者さんの血液型検査や交差適合試験を



輸血管理室
石戸谷 典明

実施し、適切な血液製剤を選択したり、温度や有効期限など血液製剤の保管・管理を行います。

専従の臨床検査技師のほか、医師、薬剤師が所属しており、輸血に関する様々な情報提供を含め、臨床医との連携を図りながら患者さんに安全な輸血療法を受けていただけるよう今後も努めてまいります。

看護外来のご案内です。

看護外来では、患者さんやご家族がその人らしい生活をスムーズに送れるよう、専門的な知識、技術を持った看護師が相談をお受けしています。

看護外来は予約制です。

- ・ ストーマ外来
- ・ 皮膚・排泄ケア外来
- ・ フットケア外来
- ・ がん看護外来
- ・ 助産外来
- ・ 母乳外来
- ・ 育児母乳相談外来



お問い合わせ先

よろず相談地域支援室（看護相談室）
TEL:053-436-1251（代）